

手順書

**Windows10 IoT Enterprise
Algonomix 製品
ストレージフォーマット**

目 次

第1章 はじめに

第2章 ストレージのフォーマットの実施

2-1 Windows10 IoT Enterprise製品の場合	2-1
2-2 Algonomix製品の場合	2-7

第1章 はじめに

本書ではWindows10 IoT Enterprise 製品および Algonomix 製品においてサブストレージのフォーマットを行う際の手順について解説します。

作業を実施する前に端末に以下の機器を接続してください。

- ・ USB マウス
- ・ USB キーボード

- ※ 本作業は Storage2 に初めて SSD ストレージを挿入した場合の製品専用の作業になります。Storage2 に何も接続していない場合は本作業は行わないでください。
- ※ 本作業は初期状態の SSD ストレージをフォーマットする際の手順になります。既に何らかのデータが入っている SSD ストレージでフォーマットすると SSD ストレージ内のデータが消去されます。その場合は必要なデータはあらかじめバックアップを取るなどの処置をしてください。
- ※ Storage1 の SSD については、ソフトウェアユーザーズマニュアルの『第5章 システムリカバリ』をご参照ください。
- ※ SSD ストレージの抜き差しは必ず電源を切ってから行ってください。

第2章 ストレージのフォーマットの実施

2-1 Windows10 IoT Enterprise 製品の場合

- ① 端末の電源を投入します。
Windows が起動することを確認してください。
- ② コンピュータの管理画面を開きます。
スタートメニューボタンを右クリックしてください。
メニューが開くので「ディスクの管理」を選択してください。

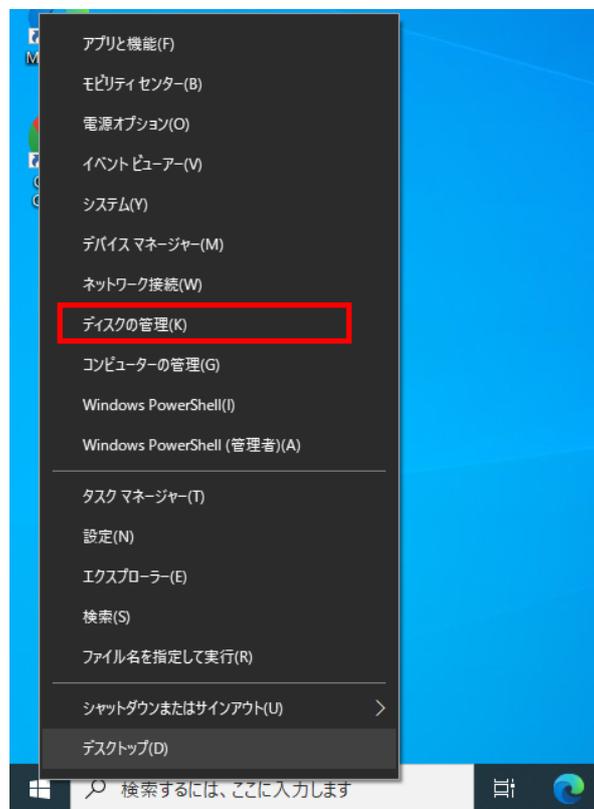


図 2-1-1 ディスクの管理画面を開く

② ディスクの初期化を求められます。

ディスク管理画面が開きます。

その後、図 2-1-2 のようなディスクの初期化画面が開くので、「OK」ボタンを押してください。



図 2-1-2 ディスクの初期化

※ ディスクの初期化画面は初回使用する SSD ストレージを挿入しているときのみ表示されます。

③ ボリュームの作成をします。

前頁で表示されたディスクを選択して右クリックしてください。

メニューが開くので「新しいシンプルボリューム」を選択してください。

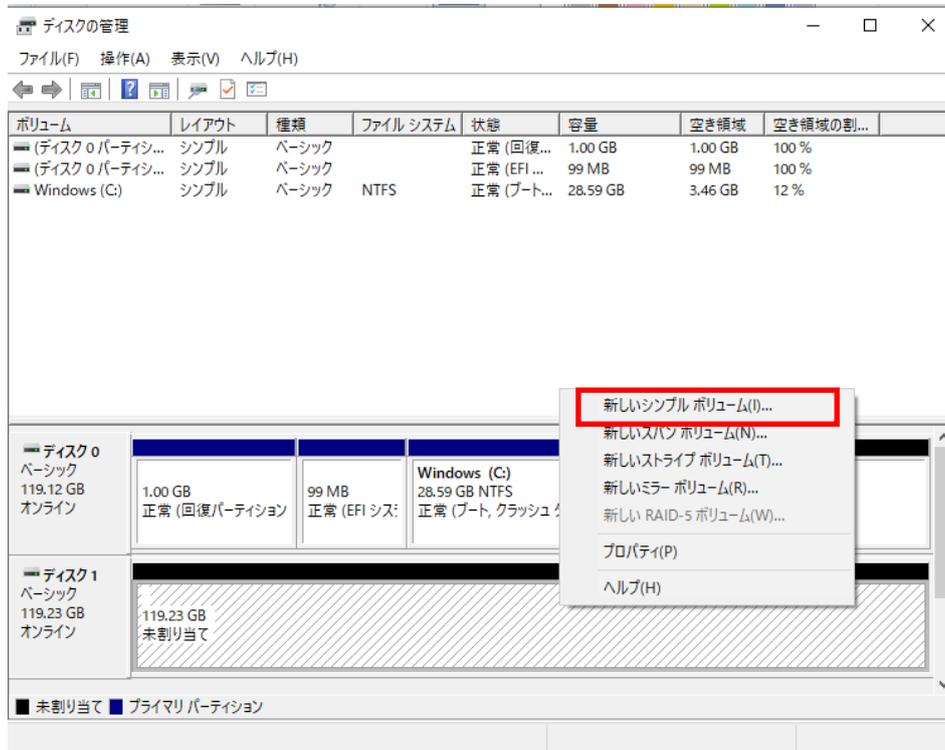


図 2-1-3 フォーマットするディスクの選択

- ※ 図 2-1-3 は 128GByte の SSD ストレージが接続されている場合の図になります。
システムの構成によって画面構成が変わるため、ディスク選択時は間違いがないかを十分に確認してください。
- ※ Windows のシステムがインストールされている SSD ストレージをフォーマットすると、
Windows が起動しなくなるため、細心の注意を払ってフォーマットを実行してください。

- ④ ボリュームウィザードの指示に従ってフォーマットを開始します。
 最初に図 2-1-4 のような画面が表示されるので「次へ」を押してください。



図 2-1-4 ボリュームウィザードの開始画面

- ⑤ 図 2-1-5 のようにボリュームサイズの指定画面が開きます。
 ストレージの用途に従って、最大サイズをそのまま使用するか、使用サイズを指定してから「次へ」ボタンを押してください。
 (特に意図がない場合は設定を変更しないでください)

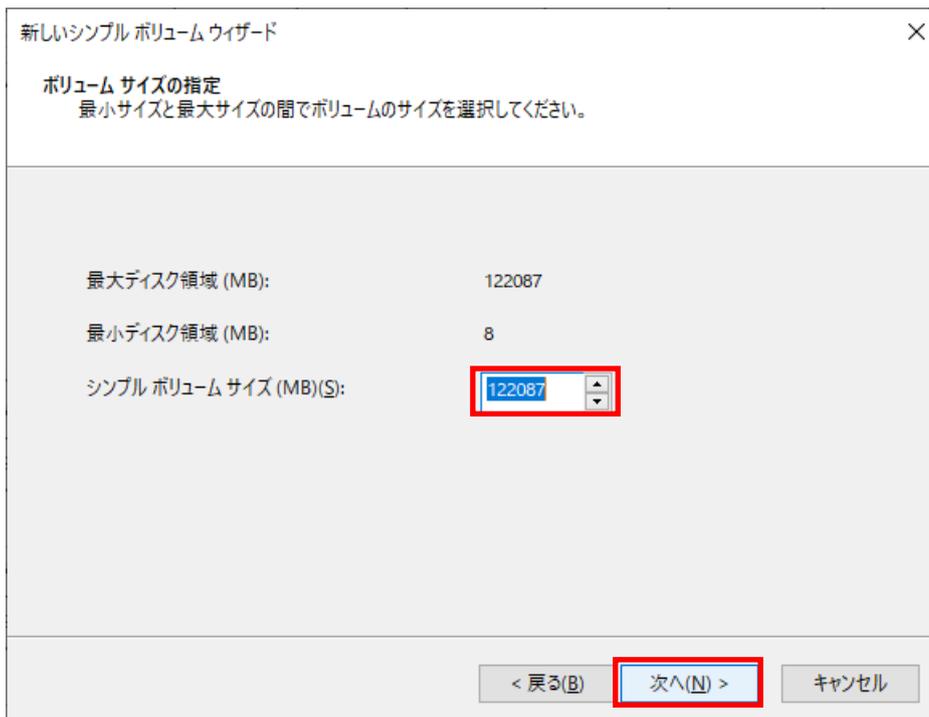


図 2-1-5 サイズの設定

- ⑥ 図 2-1-6 のようなドライブ文字またはパスの割り当て画面が開きます。
特に意図がなければ設定を変更せずに「次へ」ボタンを押してください。

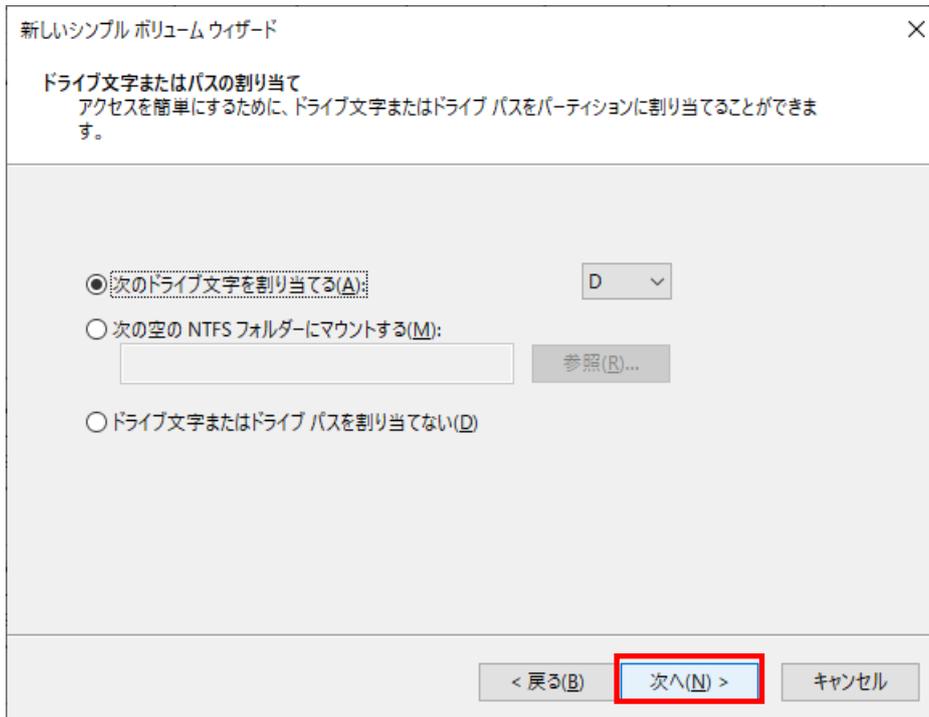


図 2-1-6 ボリュームラベルの設定

- ⑦ 図 2-1-7 のようなパーティションのフォーマット画面が開きます。
特に意図がなければ設定を変更せずに「次へ」ボタンを押してください。

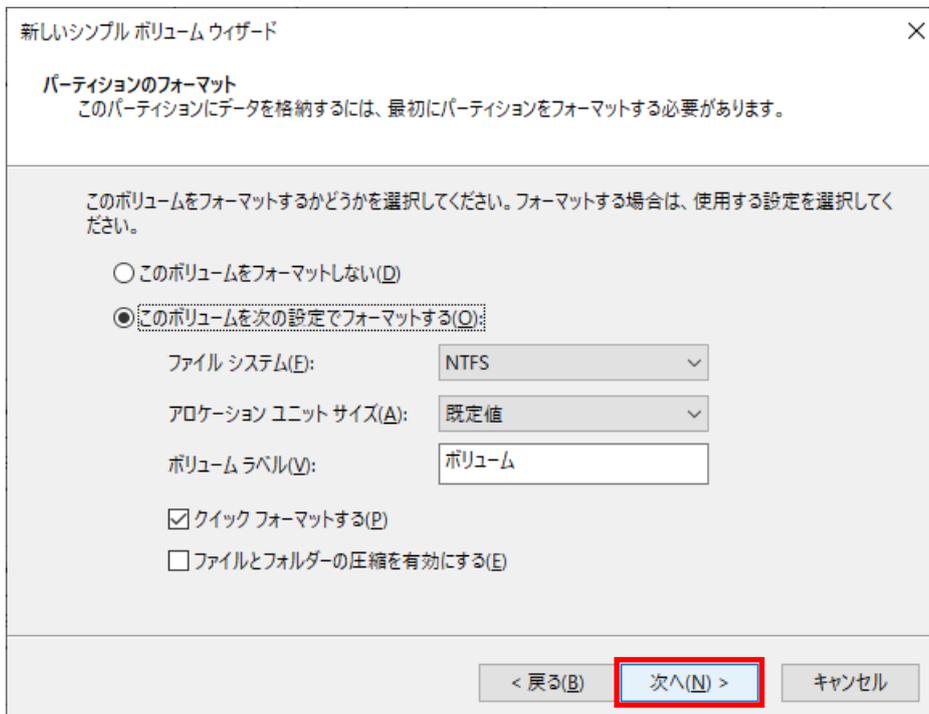


図 2-1-7 ボリュームラベルの設定

- ⑧ 図 2-1-8 のようなボリュームウィザードの完了画面が開きます。
 設定内容を確認してから「完了」ボタンを押してください。
 「完了」ボタンを押すとフォーマットが自動的に開始されます

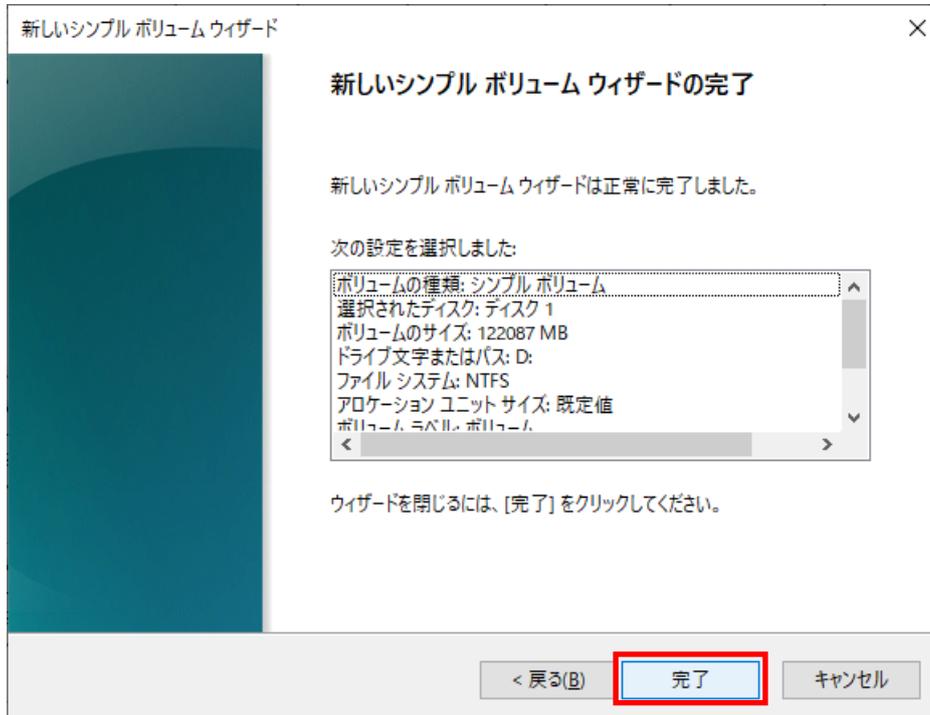


図 2-1-8 ボリュームウィザードの完了

- ⑨ フォーマットが開始されます。
 フォーマットが開始されるので、完了するまでしばらくお待ちください。
 フォーマットが完了すると以下のように表示されます。

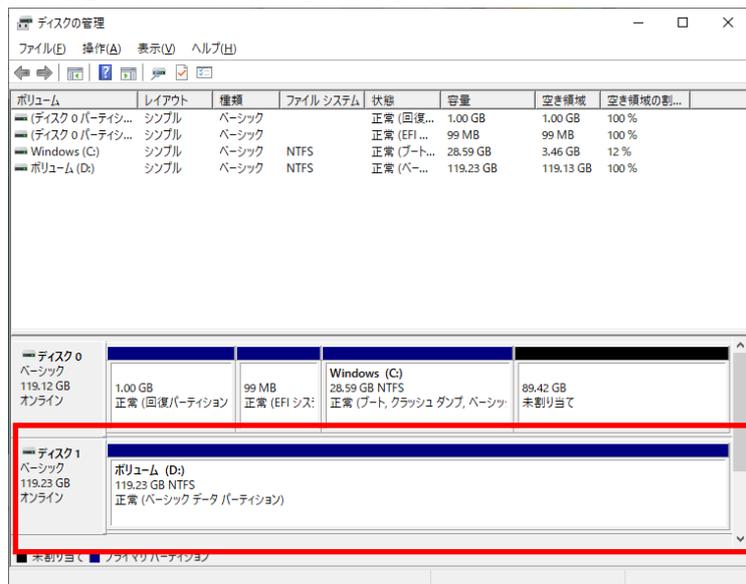


図 2-1-9 フォーマットの完了

以上でフォーマット作業は完了です。
 Windows のエクスプローラなどで D ドライブにアクセスしファイルの読み書きができることを確認してください。

2-2 Algonomix 製品の場合

- ① 端末の電源を投入します。
Linux OS が起動することを確認してください。
- ② デスクトップからターミナルを起動します。

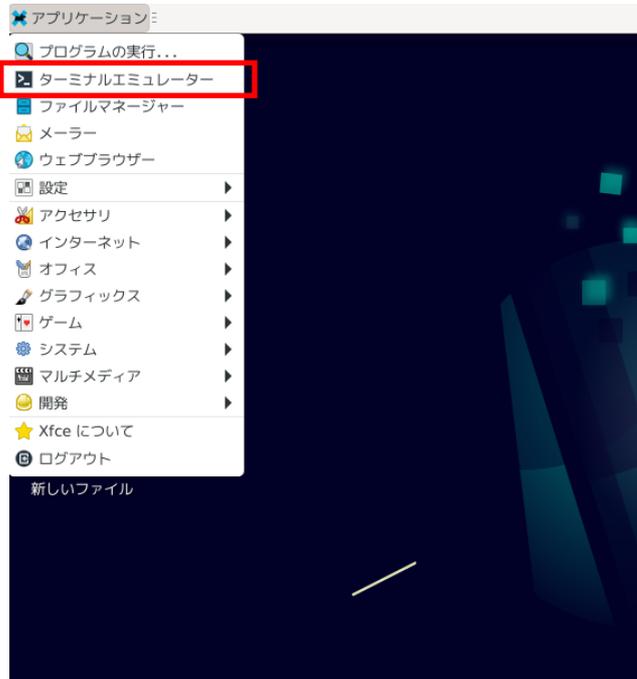


図 2-2-1 ターミナルの起動

- ③ ターミナルで以下のコマンドを実行して管理者権限を取得します。
※パスワードを要求されるので、入力してください。

```
$ su
```

- ④ 以下のコマンドを実行し、接続されているディスクの情報を確認します。

```
# lsblk
```

通常、2 枚の SSD ストレージが認識している場合、2 番目の SSD ストレージは sdb として認識されます。

- ⑤ 対象の SSD 上に既存のパーティションがある場合、それらを削除します。

```
# fdisk /dev/sdb
```

fdisk コマンドを実行後、以下の操作を実行してストレージを削除してください。

1. 'd'キーを押してパーティションを削除
2. パーティション番号を選択
3. すべてのパーティションを削除するまで繰り返し
4. 'w'キーを押して変更を保存して終了

※この時点で対象のストレージのデータはすべて削除されます。

選択しているストレージに間違いがないか、ストレージにバックアップが必要なデータが残っていないか必ず確認してからコマンドを実行してください。

- ⑥ 以下のコマンドを実行してパーティションを作成します。

```
# fdisk /dev/sdb
```

fdisk コマンドを実行後、以下の操作を実行してパーティションを作成してください。

1. 'n'キーを押して新しいパーティションを作成
2. パーティションタイプを指定（通常は「p」を選択してプライマリパーティションを作成）
3. パーティション番号を指定（通常は「1」）
4. パーティションの開始セクターと終了セクターを指定（デフォルトのままエンターキーを押す）
5. 'w'キーを押して変更を保存して終了

- ⑦ 以下のコマンドを実行してパーティションをフォーマットします。

```
# mkfs.ext4 /dev/sdb1
```

※ファイルシステムとして ext4 を使用しています。他のファイルシステムを使用する場合は、適宜コマンドを変更してください(例'mkfs.ntfs'、'mkfs.xfs'など)。

以上でフォーマット作業は完了です。

このマニュアルについて

- (1) 本書の内容の一部または全部を当社からの事前の承諾を得ることなく、無断で複写、複製、掲載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容に関しては、製品改良のためお断りなく、仕様などを変更することがありますのでご了承下さい。
- (3) 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらお手数ですが巻末記載の弊社までご連絡下さい。その際、巻末記載の書籍番号も併せてお知らせ下さい。

77S020020C
77S020020A

2024年 7月 第3版
2015年 6月 初版

 株式会社アルゴシステム

本社
〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾656番地

TEL (072) 362-5067
FAX (072) 362-4856

ホームページ <http://www.algosystem.co.jp/>